

さんようおのだ 議会だより

江汐公園つつじまつり (4月17日)

もくじ

新年度予算…………… 2～4	衛藤 弘光 議員…………… 9	岩本 信子 議員…………… 14
委員会レポート	伊藤 武 議員…………… 9	伊藤 實 議員…………… 14
総務文教常任委員会…………… 5	吉永 美子 議員…………… 10	下瀬 俊夫 議員…………… 15
民生福祉常任委員会…………… 6	中島 好人 議員…………… 10	福田 勝政 議員…………… 15
産業建設常任委員会…………… 7	高松 秀樹 議員…………… 11	硯谷 篤史 議員…………… 16
一般質問	山田 伸幸 議員…………… 11	視察報告…………… 16
尾山 信義 議員…………… 8	河崎 平男 議員…………… 12	議案採決の結果…………… 17
大井淳一郎 議員…………… 8	平原 廉清 議員…………… 12	特別委員会…………… 18
	河野 朋子 議員…………… 13	市民のこえ…………… 18
	中村 博行 議員…………… 13	編集室より…………… 18

3月
定例会

予算特別委員会で平成23年度

一般会計 268億3159万円となる

新しい試みとして、予算は議員全員参加の一般会計予算審査特別委員会を設置し、各分科会に分かれて審査をしました。消防費では、山陽消防署の場所が特定され、予算化されていたので修正動議が出され、委員会では可決となり一般会計は承認されました。委員会運営については、改善点多々ありましたが、議会改革の一步として取り組みました。これからもこの予算が「有効に市民のために」使われていくよう監視・評価していきます。

平成23年度一般会計予算

- 今年度の市債は（借入金）は？ 35億5512万円
- 今年度の公債費（返済金）は？ 40億1471万円
- 23年度末の基金残高の見込みは？ 32億8900万円
- 23年度末の市債残高（借金残）の見込みは？（一般会計+特別会計） 505億2001万円

歳入（財源）

●市税

市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税・都市計画税

100億8619万円

●市債（借入金）

学校や道路・施設等の建設にあてるための借入金
臨時財政対策債

35億5512万円

●地方交付金

行政運営に国から交付されるお金

55億6050万円

●繰入金

各事業を行う財源確保のため基金を取り崩すお金

5億2130万円

●国・県支出金

国や県が負担、補助、委託するお金

54億7584万円

●その他

市営住宅やその他施設使用料
保育料や各種証明手数料等
負担金・分担金・使用料・手数料
諸収入・財産収入・寄附金・繰越金

16億3264万円

一般会計当初予算案を修正可決！

合計 **625億7105万円**

歳出（使い方）

☆は新規事業

※千円以下の金額は四捨五入しています。

● 民生費

- ・ 障害、高齢者、児童福祉費
- ・ 保育所運営費
- ・ 医療費助成
- ・ 生活保護費
- ・ 子ども手当

13億8462万円

☆児童クラブ室整備
(厚狭小) 3600万円

95億6109万円

● 公債費

(借入金の返済)

市が建設事業や職員退職金などに借り入れた市債の返済に必要な経費

・ 退職債返済金

2億1443万円

40億1471万円

● 総務費

庁舎管理や電算システムの保守など行政内部に必要な経費

☆自主防災組織育成事業

956万円

☆市政情報発信事業

(FM ラジオ) 79万円

☆旅券の発給窓口設置

(山陽総合事務所) 69万円

34億6993万円

● 衛生費

環境対策や清掃事業
健康推進などの経費

☆健康診査事業

(大腸ガン検診増を含む)

8070万円

・ 浄化センター基幹整備事業

6528万円

21億625万円

● 教育費

小中学校、幼稚園管理運営

公民館、図書館、文化会館など社会教育費

文化財、スポーツ振興経費

☆地域協育ネット事業

702万円

・ 厚陽小・中施設一体型校舎

建替 8億2123万円

27億7861万円

● 土木費

道路・河川・公園・市営住宅などの維持管理や建設費、都市計画事業費

☆公営住宅等長寿命化計画策定事業

640万円

・ 市道改良事業

2億2385万円

21億3739万円

● 農林水産業費

農業・漁業・林業などの経費

5億3360万円

● 消防費

消防・救急活動費

消防基盤設備費

消防本部、消防団運営

経費

10億4338万円

(修正額△8841万円)

● 商工費

商工業の振興経費

観光振興経費

☆消費生活センター設置

76万円

☆観光資源景観整備事業

1000万円(商工)

7億1769万円

● 労働費

労働に関する経費

勤労青少年ホーム運営

費

5438万円

● 議会費

市議会運営費

議員報酬・政務調査費

等

1億8447万円

● 災害復旧費

災害復旧事業等

1億8010万円

予算審査特別委員会(一般会計)の審議

3月
定例会

山陽消防署関連予算を 三度(みたび)修正可決!

▼**総務文教分科会** 旧法務局山陽出張所用地の売却、水害被害を受けたJRの固定資産税減免問題、山陽地区体育振興協議会への補助金カット、厚狭公民館の建て替え問題などが議論されました。

▼**民生福祉分科会** 民生児童委員の選任問題、ファミリーサポートセンターや厚狭児童クラブ建設問題などが議論されました。

▼**産業建設分科会** 山陽有線放送事業廃止に伴う職員の退職金、市民病院への直行バス、県事業負担金の減額問題などが議論されました。

特別委員会では、3人の議員連名で山陽消防署建設費など8841万円を減額し、調査設計委託料を2000万円とする修正案が提案され、賛成多数で可決されました。また右記のように一般会計予算に対する「附帯決議」が全会一致で可決されました。

全会一致で可決された附帯決議

附帯決議(概略)

- 1、未曾有の東日本大震災を教訓として、「災害に強いまちづくり」のために公共施設のあり方や耐震化などを急ぐこと。
- 2、市有地の売却にあたっては、不動産鑑定評価に基づいて価格を設定し、公募、入札を基本とすること。
- 3、各種補助金の交付については、適正な評価に基づき、公平・公正な運用をすること。
- 4、買物難民や市民病院への山陽地区からの直行バスなど、市民生活に密着した公共交通網を抜本的に整備すること。
- 5、企業誘致促進のプロジェクトチームを立ち上げ、必要な予算確保に努めること。
- 6、住宅リフォーム助成制度充実と恒久化、小規模工事登録制度の充実などを図ること。
- 7、小中学校の再編は、保護者・地元住民の意向を尊重すること。

3月24日 一般会計予算審査特別委員会

企業会計 74億4975万円

282億8971万円 特別会計

病院

新病院建設にゴーサイン!

山陽地区からの直行バスの存続、薬剤の院外処方やジェネリック医薬品、医師増員問題などが議論されました。また本会議で新病院の基本計画・設計委託料など6700万円の減額修正案が議員提案されましたが、賛成少数で否決され、新病院建設にゴーサインが出されました。

(賛成多数)

水道

鴨庄浄水場に防水壁設置

事業計画の主なものは高天原浄水場の耐震診断、PCBトランスの9台の処理、鴨庄浄水場の防水壁設置です。また、配水池(5000㎡)を川東の東部地区に計画していましたが、昨年の水害により山陽地区のほとんどが断水したため、山陽地区全体を見直しての計画に取り組みます。

(賛成多数)

小型自動車

地域公益事業に1000万円

厳しい事業運営のなかで地域の公益的な事業として、公民館のトイレ改修など合計1000万円を予定しています。

(全員賛成)

国民健康保険

一般会計から約3億円の繰入金

予算総額は74億4035万円(前年度比4.7%増)で、歳入の伸び悩みによる収支不足のため2億9895万円の基準外繰入金を計上し、保険料率は3%増の見込みとなります。

(賛成多数)

下水道

水道料金と徴収を一元化

10月より水道料金と下水道使用料等を一元的に徴収する方式に変更することで、経費節減がはかられます。

(賛成多数)

総務文教

一般会計

■ 22年度補正予算（第6回） ■

山陽消防署の建設場所に再び待った!!

委員 山陽消防署はどのくらいの規模で、どのような建物を考えているのか、まだ一度も説明を受けていないがどうか。

消防本部次長 事務所、車庫、仮眠室、会議室等を備えた鉄筋コンクリート二階建てで、面積は1000㎡から1200㎡を考えている。また、訓練塔、機材倉庫、ホース乾燥塔等の附属建物も予定している。

委員 山陽消防署建設については全く進展がないのに、12月議会で修正された内容と同じ提案をされてもそのまま認めることはできない。どう考えているのか。

消防本部次長 石油貯蔵施設立地対策等交付金で平成24年度に建設を計画しているため、再度、補正予算を提出した。

委員 すぐ着手しなければ交付金が駄目になるかもしれないとのことだが、誰も確認していない。どれほどの時間があるのか、当局に確認してからでも遅くない。地元住民にも異論があるなかで、慎重に検討するためにもう一度修正を提案する。

※修正案は委員会では否決となりましたが、本会議では修正可決されました。

特別会計

■ 22年度小型自動車競走事業会計補正（第4回） ■

発売収入を7億8500万円減額

委員 勝車投票券発売収入が大幅に減額となった主たる要因は何か。

公営競技事務所長 SG等のビッグレースの売上が天候等の影響を受けたこと、また一人あたりの購入額も減少傾向にある。SGで24億の予定が21億、G1の平成チャンピオンカップで16億が13億8600万円、スピード王では15億の予定が12億8700万円とそれぞれ落ち込んだ。

(全員賛成)

条例

■ 職員給与条例の改定 ■

一般職の給料カットを廃止

委員 今回の改正の主旨は何か。

人事課長 実際の職階と給料表における級別職能に乖離があったので是正した。現行6級から5級へ40名、5級から4級が46名、4級から3級が191名で、合計280名が対象となる。また給料カット率の見直しにより、課長以上の5%、係長級及び課長補佐級の3%は従来どおりだが、一般職310名の若年層については今年度からカットしないこととした。

委員 影響額はどれほどか。

人事課長 級の切り替えで約430万円。1～3級はこれまでの2%カットを廃止し、約2280万円必要。

(全員賛成)

その他

■ 指定管理者の指定 ■

きららガラス未来館&きらら交流館

委員 きららガラス未来館の指定管理委託料が400万円増の約2650万円になっているが、市直営時代との比較結果はどうか。

社会教育課長 市の直営では、ざっと3150万円の持ち出しになっていた。

委員 きらら交流館でも約600万円の大幅値上げとなっている。経費面でのメリットがなくなる危険性については認識しているか。

教育部長 今回約2350万円での委託で、直営に比べてまだメリットはある。指摘されたことは、いずれ近いうちに来るとの危機感を持っているが、具体的な取組は今後の課題だ。

(全員賛成)



きららガラス未来館

民生福祉

一般会計

■ 22年度補正予算（第6回） ■

児童扶養手当 80万円増額

委員 父子家庭の実績があれば教えてほしい。
こども福祉課長 21件である。

災害援護資金貸付金の 実績 18件にとどまる

委員 460世帯くらい床上浸水したにも関わらず、貸し付けの実績が少なかったのは周知宣伝が足らなかったからではないのか。

社会福祉課長 特段PR活動が不十分だったわけではなく、融資枠の少ないところ数箇所からよりも1カ所から借りた方が負担も軽いと考えたと推察される。

（賛成多数）

特別会計

■ 22年度国民健康保険特別会計補正予算（第4回） ■

県下最高ではないが…

委員 全体の補正を含めて保険料は県下で何番目くらいになるのか。

国保年金課主幹 他市と比較すると、一人当たりの保険料は今のところ県内で4番目である。
（全員賛成）

企業会計

■ 22年度病院事業会計補正予算（第2回） ■

23年度から整形外科医と 産婦人科医が増員

委員 新たに2人来られるという事だが、基本的には医局に働きかけて努力が実ったという理解でよいのか。

病院事業管理者 そのとおりである。今年初め、市長が「新病院ができる」と発表したことも要因だと思われる。

院外処方が出来ない理由は？

委員 「出入口の橋が混雑するから」と言うが、意味がわからない。院外処方が出来ない理由を明確に言ってほしい。

病院事業管理者 決して院外処方をやらないわけではない。院内処方の方が安く、結果的に患者が希望しているのが実態だ。病院が院外処方に統一すると金額は高くなるし、道が1本しかないために橋が混雑すると思えない。

委員 狭い調剤室の中で9人の薬剤師を抱えていることについて何の問題もないのか。

病院事業管理者 9人が決して多いとは思わない。薬剤師が薬局だけで仕事をしており、病棟薬剤師など本来の役割を果たしていないことは非常に残念だ。

病院局事務部次長 現在、「院外処方検討委員会」を設置している。この問題については、今しばらく時間をもらいたい。

（賛成多数）

その他

■ 指定管理者の指定 ■

児童館

委員 指導員が必要などといった環境下だと競争原理が働かないではないかと思う。応募段階で1法人程度にとどまる現状の中、一種の緊張関係が保たれるか疑問だがどうか。

こども福祉課長 一つの児童館でも他の団体が入ると刺激になるという考えもある。今回、社会福祉協議会以外に民間のNPOから問い合わせがあった。条件が合えば任せたいと考えている。
（全員賛成）

■ 市の特定の事務を扱う郵便局の指定 ■

ワンストップサービスの期間延長

委員 本山・有帆以外の地域では、このような業務をしていないのか。

市民課長 それぞれ郵便局の近くに支所及び出張所があり、本山と有帆にはないということでこの事業を開始した。
（全員賛成）



小野田有帆郵便局

産業建設

一般会計

■ 22年度補正予算(第6回) ■

有線放送電話共同設置協会の退職金

- 委員** 退職金の規程はどうなっているのか。
- 産業建設部次長** 有線放送協会の退職金の規程によって支払う。これは農協の規程に準じている。
- 委員** 今回のように経営難による廃止、つまり解雇なので、上乘せの退職金があるのではないか。
- 産業建設部次長** ある。
- 委員** 有線放送協会の解散は11月2日宣言したが、その後はどうするのか。
- 産業建設部次長** 理事会に代わるものとして、清算人で残務整理を行う。

市有林の杉、檜の使用

- 委員** 厚陽小中の一体型校舎の建設に市有林の木を使用するが、どこに使用するのか。また、この市有林はどこにあるのか。
- 産業建設部長** 板材が主で、内装関係に使用する。今回切り出す市有林は厚狭石東の付近に約30haあり、そこより70年から80年のヒノキ約400㎡を切りだす。
- 委員** 補助金は出るのか。
- 教育総務係長** エコスクール事業の補助の対象で地域材等の利用型になり、補助率2.5%を考えている。(賛成多数)

企業会計

■ 水道事業会計補正(第2回) ■

断水による減収

- 委員** 厚狭川水害による減免の影響額はいくらか。
- 業務課長** 件数は約1000件で、金額は100万円程度である。
- 委員** 5月から諸手当の改定をしたが、削減額はいくらか。
- 水道局次長** 企業手当が400万円、特殊勤務手当210万円、通勤手当が87万円、期末手当0.2カ月で747万円である。

(賛成多数)

その他

■ 指定管理者の指定 ■

竜王山公園オートキャンプ場

- 委員** 利用状況と収支の内訳はどうであったか。
- 管理緑地係長** 指定管理が平成19年度の下期から始まり、19年度は130万円程度の赤字、20年度21年度は数十万円の黒字だった。
- 利用状況は21年度で市内の宿泊者358件(18%)、県内952件(47%)、県外732件(35%)である。
- 委員** 指定管理料が270万円より315万円になったのはなぜか。
- 都市計画課長** 21年度は、地元住民の方々がボランティアでキャンプ場の整備をされたので、黒字であった。管理指定料の積算の根拠は人件費、需用費、役務費、委託料である。今回の315万円は株式会社昇栄の提出された金額で、今回より上限額の枠を外し基準額に変えた。

(全員賛成)

商工センター

- 委員** 指定管理期間が指定管理場所により5年と3年の契約があるが、どう区分しているのか。
- 商工労働課主幹** おもに維持管理業務が主の施設は3年で、業務内容に一定の専門性があるものが5年である。
- 委員** 商工センターの全館を指定管理するのか。
- 商工労働課長** 3階4階を指定管理区域で1階2階は商工会議所である。

(全員賛成)



竜王山公園オートキャンプ場管理棟

職員への時間外手当の未支給は無い！

尾山 信義 議員

議員 本市では時間外手当削減の名目のもと、代休措置に対しての時間外手当の未支給はないか。某市の新聞記事に、この件で2年間遡って是正支給したとあるがどうか。

総務部長 一定時間以上勤務することが必要な場合は、週休日の振替あるいは休日の代休により対応している。これらの勤務に伴う必要な時間外勤務手当等は支給をしている。

高千帆地区治水対策について

議員 有帆川護岸の状況など管理者である山口県と現状確認等を実施しているか。

産業建設部長 昨年、有帆川地区の自治会から、有帆川の危険箇所について現地確認の依頼があり、県、市及び地元で立会い、補修すべき箇所を確認し、予算が確保でき次第早急に補修を実施するとの回答を得ている。

道路整備について

議員 国体開催県で、本市の交通の混雑状況や道路の整備状況は極めて遅れている。今後の整備計画や関係機関との調整について問う。

産業建設部長 市においても国体までには、できるところは早期に工事を発注し補修していきたい。

議員 新生町日の出線の朝夕の利用状況は、異常なほど多くの車が通行している。以前にも、離合ができるような道路改良が必要であるとの質問を行ったが、一向に前進がないのはどういうことか。

市長 道路、車両の混雑の状況はよく承知している。放置できる状況にはないという認識で、平成23年度、1年かけてきちんと取り組む。

一体感のある

「まちづくり」について

議員 合併後、6年を経過するな

かで、いまだ山陽地区・小野田地区というように、「一体感のあるまちづくり」ができない理由をどう思うか。

市長 商工会議所と医師会、大きい市民団体が合併後6年経過しようとしているのにまだ一本化しないという、その2つが代表だが、進行ぶりが見えないのが医師会で、商工会議所のほうが少し先を進んでいる。



足場の危険な排水機場の開閉弁

アナログ放送終了まであとわずか

大井 淳一郎 議員

議員 「地デジ難民」を出さないための取組を問う。

総合政策部長 市が窓口となって申請を受け付け、難視地区が共聴施設等を設置すると助成の対象となる。また、市役所ロビーで受信相談専用電話などの相談体制をとっており、6月下旬から巡回臨時相談窓口を設置する予定となっている。

議員 瀬戸市が防災情報を地デジのデータ放送から収集できる取組をしているが、当市の考えを問う。

総務部長 現時点では緊急性のある情報を速やかに流すことが無理な状況だが、瀬戸市を参考にしながらシステム構築など研究したい。データ放送ではないが、新年度からFM山口が緊急時の災害情報等を放送する予定にしている。

議員 難視地区においては、再送信同意が得られないため九州の放送が見られなくなる問題がある。市はこの問題をどのように考えているか。

総合政策部長 あくまで放送局と共聴施設設置者との間で協議されるものだが、慣れ親しんだ視聴環境を提供すべきという趣旨で市長会を通じて総務省へ要望している。



地デジ詐欺にご用心

基本構想=基本計画なのか？

議員 新病院建設基本計画は、基本構想そのものが反映されるのか。

病院事業管理者 基本構想がそのまま基本計画になるわけではない。ただ、設置場所とか診療科など基本的な部分は構想どおりになる。

議員 市民も地域医療の当事者である。基本計画を策定する以前にワークショップなどを用いて意見やニーズを反映する考えはあるのか。

病院事業管理者 市民が一番の当事者である点は全くの同感である。本来ならそのような形もあり得るが、今の病院がもたないという意味で時間的ゆとりがないのが率直なところだ。ご意見は説明会や投書などで拝聴しているので、集約して設計に取り組みたい。

一 般 質 問

山陽総合事務所の建屋はどうするのか

衛藤 弘光 議員

議員 山陽総合事務所の耐震診断した経緯と結果はどうであったか。

産業建設部長 平成17年の合併により山陽総合事務所の職員が本庁に集まってきたため、空き室が生じ、その空き室をなんとか活用する方向で、耐震診断を行い補強する意向であった。耐震診断の結果はIS値は0.15～0.32（地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険が高い）。耐震化の工事費は3億9000万円、解体すれば費用は1億1600万円である。

議員 総合事務所を単独で耐震補強をすれば合併特例債の活用ができないが、複合施設として建て替えれば特例債が使用でき、老朽化した消防署の移転を含め、山陽総合事務所周辺の公共施設の統合や複合化について、どう考えているのか。

総合政策部長 合併特例債が活用できる施設の統合や複合化につい

て、検討中である。

消防本部長 老朽化した消防署の建設は必要であり、補正予算の審議結果をうけ、消防が適地と考えている幹線道路に面し一定の広さと災害に強い場所を基本に検討する。

文化都市をめざして

議員 旦の「皿山の里」構想はどうなっているのか。又、登り窯の都市開発公社が先行取得した土地はどうするのか。住宅用地として売りたいらどうか。

教育部長 平成23年度中に策定する本市の文化振興ビジョンの検討委員会にも意見をお願いしている。平成7年度に購入した面積は市の分を含め4200㎡で金額は3974万円である。文化財審議会の意見を参考に検討する。

議員 文化都市を目指す市として

歴史資料館の前に市民が気安く利用できる市民ギャラリーの建設をしてはどうか。

教育部長 現在進めている文化振興ビジョン検討委員会の答申をまって検討する。

議員 旧小野田市が力を入れて整備した、塚の川古墳公園の取付道路の拡幅、及び駐車場の整備は惨めである。どう思うか。

教育部長 現状は把握しているが、現段階では難しい。



旦の登り窯

公民館避難通路改修へ

伊藤 武 議員

議員 各公民館の避難通路の実態はどうか。特に2階建て以上ではどうか。

教育部長 特に山陽側では老朽化が進んでおり、避難通路も最良の状態か疑問だ。

議員 出合公民館2階からの避難通路が事実上使えない状況だが認識はどうか。

産業建設部長 市長より「23年度中にどうにかせよ」と指示があり、建築サイドとして、高齢者も使えるよう考えている。



出合公民館の使用不能の避難階段

病院バスの継続と夜間透析の実施を

議員 新年度の運行と新病院建設後以降の通院バス運行計画は、また、夜間透析の対応はどうか。

病院事業管理者 3月末で終了する。新病院建設後は、検討していない。夜間透析は、民間へお願いしたい。

命を守る通信網整備は

議員 有線放送も廃止され、全市的ケーブルテレビジョン方式も採用されないが、他の市町で防災無線放送等々があるが実態はどうか。

総合政策部長 県内では、山口市、萩市、阿武町で実施、各家庭へ定・臨時の放送がある。広島県は安芸太田町や廿日市市が放送している。

議員 視察の世羅町は、情報の共有化を図るため、無線放送で町内13カ所の放送機と各世帯の受信装置で毎日、朝昼晩と3回、行政の連

絡事項や行事、葬儀等のお知らせが行われている。臨時的には、災害時等の緊急放送を行っている。改修費用1617万円。さらには年間運営費1772万円だ。利用料は、受信家庭で年2200円だが、本市も取組はできないか。

総合政策部長 地域情報化検討委員会で調査し、一応検討する。

交通安全対策の強化を

議員 右折帯設置や盛り上がりの交差点で右折矢印信号表示がないことから、対面側の直進、左折の判明不能となり夜間を中心に交通事故多発状態だ。特に小野田駅前、渡場交差点はどうか。

市民生活部長 信号機等の苦情や要望は、現地調査後、警察署へ随時報告、検討をお願いしている。

産業建設部長 交通事故等の情報や交通量が多く危険性が高い交差点は、交差点改良を県へ要望したい。

「社会のための教育」ではなく、「教育のための社会」を！

吉永 美子 議員

議員 まちづくり魅力基金の用途について、文化会館において子どもたちの交流と素晴らしい文化芸術に触れる事業を行うよう提案してきたが、考えはどうか。

市長 異論はない。

公共病院の使命は大！

議員 新病院は現在の病院とどう変わるのか。

病院事業管理者 病院機能が変わるといっても、市内の2つの医師会と3つの病院とが十分協調して役割分担し、地域医療を守り続けることが主な役割である。

議員 現在は医師の確保が楽ではないが、将来の展望はどうか。

病院事業管理者 この4、5年は確かに非常に厳しいが、医師が働きやすい環境を有する新病院建設が最も効果的な策である。

人口減に歯止め

議員 若者定住策を作るため、青

年会議所や若い人たちを支援している団体など、外部を交えての戦略会議を立ち上げてはどうか。

市長 大賛成である。

応援の心を表すために

議員 不育症治療助成事業の創設について、市独自の少子化対策として取り組めないか。

市長 気持ちはすごく伝わってくるので、中で勉強会を行う。

**「心の教育」のための
新教科開設を提案**

議員 福岡県八女市の「礼節・ことば科」や品川区の「市民科」のように、義務教育において、本市の子どもたちの実情にあった教科の開設ができないか。

教育長 必要な部分だけを取り出して教える新たな教科を新設するのではなく、それぞれの要素が自然に含まれている既設教科の中で適切に育んでいきたい。

全市的な視野が大切

議員 公共施設のトイレ整備について、平成20年6月議会において、年次の計画を提案した際、市長より計画を作るとの答弁があったが、その後の状況はどうなっているか。

市長 指摘はもっともで、まだ計画ができておらず残念である。23年度に1年かけて全ての公共施設を点検する。

議員 バリアフリー基本構想を合わせて策定できないか。

市長 1、2年かけて取り組んでいく。



**子育て支援言うならば
経済的支援こそが必要である**

議員 「安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」は、子どもの医療費無料化制度の充実や保育料の軽減などの経済的支援が必要ではないか。

健康福祉部長 医療費無料化については、小学校就学前で実施、県制度の一部負担金も市が助成しており、さらなる拡充は困難である。保育料は、他市と比べても高いものではなく現在の財政状況ではさらなる減額は困難である。

議員 兵庫県相生市では、医療費や給食費、通学費等中学校卒業まで無料や保育料を3歳から5歳まで月8000円の軽減などの提案に対して市長はどのように思うか。

市長 私もすばらしいと思う。財源をつくらなくてはいけないので、一緒に努力していきたい。

**高千帆台での
バス利用者促進について**

議員 バス乗り入れ実証運行が

実施されて5カ月たつが、高千帆台でのバス利用者促進について問う。

産業建設部長 現在、商業店舗への乗り入れや運行方向について協議している。

議員 高千帆台でアンケートを実施し、10日間で77通回答が寄せられた。「免許証を返上していく身にとってバスの便は感謝です」「手術後、車の運転ができない時にバスがあって助かった」「主人が入院していて私は運転できないのでバス利用で本当に助かった」等々たくさんの喜びの声と共に、要望として、①本線との接続が悪い、②サンパーク方面への直通便、③イオン敷地内へのバス停の設置、④料金が安い、割引券の発行など寄せられている。アンケートすべてを担当課に渡してあるのでできる点があったら進めてはどうか。

産業建設部長 77枚のアンケートをいただいたので、今後検討したい。

中島 好人 議員

親しみのある愛称を付けてほしい

議員 高畑・高泊線循環バスは舌まわりも悪い、バスの名前を言えば「ああ、あのバスか」と言うふうに分かる名称を募集して付けてほしい。

産業建設部長 本格運行の段階のタイミングなどにおいて、愛称募集について活性化協議会で検討したい。



高千帆台バス停にて

市長から見た議会

高松 秀樹 議員

議員 反問権については、単なる趣旨や論点を明確にするだけでなく、対案や財源措置の方法などを逆質問するという広義の考え方にに基づき、一般質問においては執行部と議会が議論する場であることがふさわしいというのが市長の見解か。

市長 私は、それを求めている。また、議会と執行部との関係は、そうあるのが望ましいと考える。

議員 委員長報告に対する質疑について執行部は、物が言えない状況にある。それについての市長の考えはどうか。

市長 本会議の席で黙って座っているだけではいかにもむなしくて、もう少し発言させてくださいと、そういう気持ちである。

議員 市長は一般質問をどのようにお考えで、どのように市政に対して反映をしていこうと思われているか。

市長 私たちは、一般質問で出

た一つ一つの事項について、留保した問題については、次の部長会議で取り上げ、その指摘されたことについてどう対応していくかということなどについて丁寧にきちんとやっている。また、私としては、素晴らしい一般質問を皆さんにいただいているという認識である。

議員 24人の力を結集して、そして首長及び執行部と手を携えてまちづくりをしていくという思いで、議会基本条例を作成している。今回の答弁内容については、非常に興味深いものもあった。市民にとっていいものをつくっていくというのが最終目標である。

小中学校にエアコンを

議員 夏場の劣悪な教育環境の改善のため公立高校では、保護者がお金を出し合ってエアコンを設置しているが、小中学校において、保護

者がお金を出し合って教室にエアコンをつけることは可能か。

教育長 従来のようにすぐにだめですよというふうな考えはない。

議員 小中学校の教室などの温度の調査は行っているか。

教育長 共通して取り組んでいるということはない。

議員 ことしの夏は、全小中学校において温度調査をしてもらいたいかがどうか。

教育長 分かった。



山陽小野田市議会本会議場

高齢者の暮らしの実態調査を

山田 伸幸 議員

議員 高齢者が長期間にわたり社会とのつながりがなく、孤立した高齢者の問題。NHKが「無縁社会、無縁死3万2000人の衝撃」という番組で、誰にも看取られずに亡くなる問題が深刻な事態であることを明らかにした。社会的孤立をなくすためにも高齢者の暮らしの実態調査が必要だと考えるがどうか。

健康福祉部長 独居の高齢者が2468人いて年々増加傾向にある。特にひとり暮らしの方の生活実態を把握するとともに、福祉サービス等の利用で、高齢者が孤立しないよう努めている。新年度に高齢者のアンケートを調査して、暮らしの実態把握に努める。

買い物難民対策として

デマンドタクシー制度の導入を

議員 高齢者が暮らしていく上で、買い物は欠かすことができない。

社会性を維持していく上でも重要な手段の1つ。予約制でドアツードアのデマンドタクシーの導入を。道路環境や公共施設、買い物や通院、人の支援など、市がどのように取り組むかの理念を定める「車いすで歩けるまちづくり条例」の制定が必要であると考えているがどうか。

産業建設部長 買い物弱者に対して商店街の振興や公共交通の活性化だけでなく、買い物環境の改善を図るために、車による移動式店舗や宅配サービスなどの拡充も重要になってくる。経費面や目的などを考慮して、国や流通事業者等との連携を図る中で、買い物弱者の環境改善に向けては、今後研究していく。

健康福祉部長 高齢者、障がい者等の移動等の円滑化に促進する法律、山口県福祉のまちづくり条例に基づき整備をしていきたい。

議員 高齢者がみずから出かけて、社交性を維持し元気を維持して

いただくために、シルバーカートや車いすで歩ける道路環境といえるか。

産業建設部長 土木の道路、公園等も含めて改善が進んでいない。歩道は2m50cmとりたいが、自転車さえも通れない状況がある。少しずつ解消したい。



安心安全のまちづくり

河崎 平男 議員

海岸保全整備状況

議員 暮らしの安全・安心を守るまちづくりについて、松屋埴生地区の海岸保全施設整備事業の進捗状況について問う。

産業建設部次長 本事業は干拓地100haの農地を造成し、平成18年度から平成28年度に堤防の補強や消波ブロックなどの整備を行い、計画は2503mで整備済は803mで進捗率は32%ある。

糸根川河川改修状況

議員 糸根川河川改修事業の進捗状況について問う。

産業建設部次長 山口県事業として平成18年度から事業着手し、随時護岸整備を進め、平成22年度末で6割が完了している。

前場川河川改修状況

議員 前場川河川改修事業の進捗状況について問う。

産業建設部次長 山口県事業として国道2号河原橋まで延長約570mについて、高潮堤防の築造及びかさ上げ、橋梁のかけかえ工事、進捗状況は今年度で約3割が完了である。

にぎわいと活力に満ちたまちづくり

議員 津布田、埴生海岸通りの風光明媚な景観資源、食文化、文化財などの活用について問う。

産業建設部長 景観は美しく、サンセットロードとして紹介し、海岸通りの貝汁や練り製品が名産品として認定され産業観光バスツアーにも組まれている。観光協会と連携し広く情報発信に努めていく。

教育部長 津布田、埴生海岸通り

には文化財や海岸沿いの古い断層などがある。保存管理や学級、講座で紹介、見学等も積極的に取り入れていきたい。



津布田海岸

婚活支援について

議員 市として婚活支援は担い手対策などにつながるのではないかと問う。

産業建設部次長 県で実施されている結婚応援団の取り組みの情報提供をするなど、社会全体で結婚を応援する機運を醸成する活動に協力する。

小野田・楠企業団地の価格見直しを

平原 廉清 議員

議員 小野田・楠企業団地の価格の「実質80%引き」と「80%引き」との違いは何か。

産業建設部長 「80%引き」は、分譲価格を80%割り引くということ。「実質80%引き」は、土地代を一旦全額払ってもらい、操業開始時に土地代の80%相当額を補助金で出すということである。

議員 ありきたりの説明で失望した。この違いは大きな意味合いがある。「実質80%引き」で購入した企業の土地取得原価は52億8000万円である。「80%引き」は10億5600万円である。これらは固定資産税課税の評価額決定の際の主要な指標の一つとなるなど、両者には大きな差があると思うがいかがか。

産業建設部長 現在では、県と一緒に歩調を合わせている。

議員 総額52億8000万円は適正価格か。

産業建設部長 造成費や県土地開発公社が管理する他団地の分譲価格

を勘案して算出している。土地価格は経済情勢等に応じて県・市が補助金の割合を見直しながら、競争力のある価格に設定している。

議員 積算価格よりいま幾らで売れるか(市場価格)が大事である。県ももっと突っ込んだ検討が必要だと思ふ。

仲介業者へ委託を

議員 この団地売却を宅建業者に依頼する考えはないか。

産業建設部長 報償制度を活用しながら、企業、銀行、ゼネコンなどに情報提供を依頼している。

議員 報奨金500万円が上限では、宅建業者のところへ持っていても話にならない。売買代金の1%~2%の数字をぶつけないと宅建業者は動いてくれない。その観点からも県と詰めるべきである。また、補助金を減らし、その分を値下げに充てるべきだ。

5年間で売却するプロジェクトを立ち上げよう

議員 市長以下全職員、全議員、両商工会議所が一丸となって企業誘致に取り組もうではないか。

市長 早速プロジェクトチームを内部で検討するが、協力してほしい。

議員 喜んで協力する。名刺の裏のデザイン4通り作ったので、執行部で検討して欲しい。

市長 どれに絞るか協議させてほしい。

分譲中・小野田・楠企業団地

- ・総分譲面積 22.3km²・19区画
- ・実質価格 坪約13.1千~17.4千円
- ・地震保険基準料率：1等地・最安
- ・山陽新幹線厚狹駅へ7km

用地取得価額の80%補助!
(総額約52.8億~10.6億円)
他優遇措置も充実

名刺裏の図案のひとつ

重要な判断材料はポケットのメモ？

河野 朋子 議員

議員 1月1日の広報に掲載された病院建設決定の結論はいつ出したのか。

市長 12月の中旬から下旬に、建設を思いとどまっていたという人が次から次に面会を求められるので、これは引きずられてしまう心配があると思い、広報紙担当者に「私に1ページのスペースが欲しい。内容は今ここでは言えない。ぎりぎりはいつか」と確認、「他言は無用」と指示して、ぎりぎりの日に原稿を渡し記事になった。

議員 9月議会で市長は「病院建設について会計担当者に資料を作らせたなら、財政的に何とか大丈夫だ」という感触を得た」と言われたので、その資料を情報公開条例に基づき請求したが、出してもらえなかった。なぜか。

市長 公文書公開条例にはそれにふさわしい公文書を市民に提供するもので、ポケットの中にあるメモ、

何でもかんでも見せてくれと言われても、それは公文書公開条例に基づく市民の権利の濫用だ。

議員 私的なポケットのメモを欲しいと要求したのではなく、市の重要な施策の決定にかかわる資料を請求したつもりだ。平成21年6月に制定された「公文書等の管理に関する法律」の第4条によれば、政策の意思決定に至る過程についての文書は公文書とみなされると解釈するがどうか。

市長 公文書とは決裁文書のことである。

議員 市長はこれまで「市役所の情報はすべて市民のもの」と言っておられたが、その考えについて変わりはないか。

市長 ポケットの中のものは別である。

スピード感を持って行革を

議員 事務事業評価のシートは

21年秋には公表するとのことだったが、1年以上たっても3分の1程度しかHPに公表されていないことを指摘した。市長は12月に「次の議会までには全部きちんと載せるよう指導する。」と答弁されたが、現在全く変わっていないがどうか。

市長 指導はしている。

総合政策部長 進捗については私の責任で、大変申しわけなく思っている。今の評価方法でわかりやすい評価となっているかということも含めて、見直しをしている。



厚狭川における県事業について

中村 博行 議員

議員 昨年末、二井知事の記者会見で厚狭川関連の県要望に対し、予算措置としての事業費の確保が有望で、河川激甚災害対策特別緊急事業について国の事業採択が認められたとの発表があった。また県の23年度予算案で厚狭川関連事業費として13億6500万円の計上が公表されているが県事業について市はどの程度把握をしているか。

産業建設部長 22年度からおおむね5カ年で事業を実施する予定と聞いている。内容については渡場から上流5.7kmで、主に河床掘削、拡幅、鴨橋の架け替えである。既に着手している迫山付近の堤防の嵩上げや新橋の撤去もほぼ完了しており、新年度から架け替え工事を予定している。改修等には地元要望を踏まえ県に早期完成を要望する。

議員 今後の県事業について市長は山陽商工会議所会頭と県に向いたと聞いているが詳細についての

説明を求める。

市長 県の担当部長に面会し、その結果23年、24年も大雨洪水の心配はあるが予防措置は非常にとりにくい。しかし、65億円の緊急事業費がある。この使用については地元の皆さんと協議、市長との協議を必ずする約束を交わした。

議員 狭間川、音丸川、渡場の内水排除について今年度の予算措置はどうか。

産業建設部長 今は、当面部分的な寄洲を除去することで精一杯です。

厚狭地区の公共施設について

議員 厚狭地区の公共施設の老朽化は顕著であるが、1月の総務委員会で市長から総合事務所の取り壊しの構想があると聞き、厚狭地区のまちづくりに着手するのかと期待するがどうか。

総合政策部長 総合事務所、公民館、図書館、勤労青少年ホーム等を含む既存の施設や体育施設の設置について統合や複合化を視野に入れ、様々な選択肢を検討しながら再編のため新年度に250万円の予算計上をしている。厚狭地区のシンボリックな施設として全体のイメージ図が示せるまで時間をいただきたい。



老朽化顕著な総合事務所・消防署

自校方式給食を守る政策は？

岩本 信子 議員

議員 「元気いっぱいねたろう『食育』プラン」ができたが、教育委員会での協議はどうか。

教育長 プランの中で、地元や旬の食材の取り入れ、食育の日の啓発、生産者や調理員との交流を図り感謝の気持ちを育てる機会を作ることなど、既に教育現場で実施していることもあり、整合性を取りながら推進していくことを確認した。

議員 子ども達の五感を養うことのできる自校方式給食を守ることは、食育推進には重要課題と考えるが、教育委員会ではどうか。

教育長 学校給食調理場はすべてウエットシステムで、給食の安全・安心の確保には建て替えを踏まえた施設整備が必要である。調理場の整備については、ハード面からの検討ではなく、学校給食のあり方から検証・検討し、本市が抱える問題点を洗い出しその解決に一番適した調理方法や施設を決定する。

議員 「人が輝くまちづくり」の

中で、定住促進・少子化・農業と横断的な政策として学校給食の自校方式化に取り組むことを提案するがどうか。

市長 教育委員会と正式な協議をしていない。構想が具体化した時点の協議で指摘は参考にする。

施策事業の評価と市民の声の反映は？

議員 予算編成時の施策事業の評価はどうか。

総務部長 計画性・緊急性・環境要因・財源・合意形成・公平性の6つの観点からA,B,Cの3段階で評価している。

議員 23年度予算では、市民の声はどう反映しているか。

総務部長 予算概要が市民に理解できる内容である。直接ではないが所管課の緊急性の要望内容も評価している。

市長 総合計画の基本目標に基づいて担当部署が実施計画をつく

り、それに基づき来年度事業予定について、企画課・財政課・市長とヒアリングをする。事業予定作成の段階で市民の声が反映する仕組みだ。したがって、予算要求を出す過程で市民の声が反映していると理解している。

議員 現課が市民の声をよく聴いて評価することは、当市では未熟の部分である。庁内プロジェクトを立ち上げ、事業評価の新しいシステムの構築を要望する。



元気いっぱいねたろう「食育」プラン

財源が無ければ安心は創出できない！

伊藤 實 議員

議員 昨年12月の一般質問で、19年10月作成の財政計画をもとに質問をしたが、市長からその資料は古いと指摘された。しかし、その直後の答弁では3月中に示すとの事であった。残念ながら未だに示されていない。新病院建設は新病院建設が目的ではなく、本市が地域間競争に負けない。そして、若い世代の人に住みたいと思われる街を構築する為の手段のひとつとして、地域医療の充実は不可欠である。

新病院への繰り入れ金 7500万/年 25年間

議員 新病院の収支計画には一般会計からの繰り入れが想定されている。当然、繰り入れする市の財政状況の推移状況等を検証する必要があるがどうか。

総合政策部長 財政計画は現在見直し作業をしている。病院建設を含めた合併特例債事業の財政への影響についてはこの度の財政計画で明ら

かにする。

議員 財政計画は今からと説明があり、市長も合併当初崖っぷち予算。その後は夜明け前予算。そして今回23年度予算では大変厳しい状況と表現されているが、現在を含め今後の財政状況をどのように想定されているのか。

市長 財政指標、この健全化をもっと進めたい。各論もあるが総論は以上である。

議員 国民健康保険料等今後、社会保障費の増大が予測されるがどの様に考えているのか。

健康福祉部長 現在、国保、医療費が高齢化に伴ってどんどん上がっている。もうひとつの原因が介護保険の関係で寝たきりの方が増加すると考えている。国が支援策を講じないと、地方の負担は大きく増加する。

足を引っ張ってほしくない

議員 オート事業においても日本トーターとの契約更新が再来年。

本場開催が短縮された上に走路の改修にも何億もの投資。さらにはコンピューターのリース料等の残債等懸念されるがどうか。

総合政策部長 22年度中に7億を切り23年度中に6億を切る赤字にしたい。リース料は前年度までの12億程度を33年度までに赤字解消計画で解消する。また、日本トーターとの契約は他場では1、2年の短期契約である。

市長 議会、委員会にくちばしを入れてほしくない。例えば走路改修にしても。交渉するのは私である。足を引っ張ってほしくない。



山陽オート

一 般 質 問

医師養成の奨学金創設を

下瀬 俊夫 議員

議員 新病院建設の理念と決意を市長は広報新年号で述べている。

①採算度外視の地域包括医療の理念と経営統合、公設民営化は大きな矛盾をきたす。②新病院建設だけで医師確保は困難。「医師養成奨学金」制度創設を。③「病院機能評価」をなぜ受けないのか。

健康福祉部長 医師不足による地域医療の確保が危惧されるが、医師養成課程に応じた県の貸付制度で対応し、市独自の奨学金制度は考えていない。

病院事業管理者 「機能評価」はハード・ソフト面でのハードルが高く、新病院建設後に検討したい。

補助金カットは公平・公正か

議員 半世紀のあいだ山陽地域の生涯スポーツを支えてきた体育振興協議会への補助金カットは、果たして公平・公正なのか。

教育部長 合併後の一体感醸成のため、市全体の行事以外の補助金

はカットした。昭和40年代以降まちづくりに貢献してきた団体だが、役員のご理解を得ていると思う。

議員 山陽有線放送の職員は長年給与のベースアップや一時金がかットされながら頑張ってきた。会社都合による失職であれば退職金の上乗せ措置等が必要ではないか。

産業建設部次長 有線放送の給与規程で支払われる。職員の再就職は市と農協で検討している。

水害復興内容を市広報に

議員 厚狭川水害に関連して①被災住民等との対話計画は。②水害復興の内容を県事業も含めて市広報に掲載を。③水害時に不具合だった各小中学校の「緊急メール」の整備を急ぐべきではないか。

総務部長 対話の機会を設ける予定はない。工事計画や進捗状況等のお知らせは検討する。

教育部長 「緊急メール」は全小中学校で整備し、100%登録できる

よう努力したい。

北部便バスの利用改善を

議員 厚狭北部便バスの利用改善のために①厚狭小学校の登校時間に遅れないようバス発着時刻の改善を。②バス路線から遠い地域住民のためにデマンドタクシーを導入をしてはどうか。

産業建設部長 ①保護者の要望もあり早い時期の見直しをしたい。②実証運行のなかでデマンド交通も含めて検討していく。



改善された北部便バス

灯りの消えゆく有帆地区の活性化について

福田 勝政 議員

議員 有帆地区では、年末にスーパーが無くなり、高齢者をはじめ、車の運転ができない方など非常に困っている。さまざまな角度で何軒かアプローチしてみたが実現に至っていない状況にある。そこで市として何らかの支援、または優遇措置等があれば教えてほしい。

産業建設部長 商工の立場からは、支援策は難しい。

副市長 デマンド交通を必要としている地区も多く、いわゆる買い物難民は、全市的な対応において問題視しないといけないと感じている。

議員 買い物難民と簡単に言うのではなく、地区の方々にとって非常に深刻な問題なので、早急な対策をお願いしたい。

有帆地区に診療所を

議員 有帆地区には病院もなく、以前より診療所をと交渉している

が、進歩は見られない。高齢者が増加している状況の中、市としてはどのような見解なのかお尋ねしたい。

健康福祉部長 直営の診療所は考えていない。民間で開業される方がいればと考えている。

議員 さまざまな方に打診しているが難航中である。地区の方々は、不安であり不便でもあるので、前向きな協力をお願いしたい。

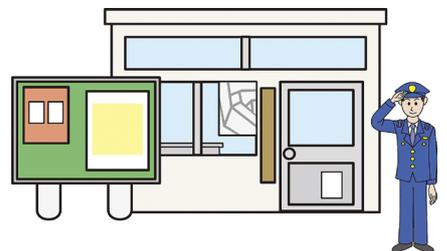
警察OBを活用しては

議員 有帆駐在所の件も、以前より交渉し、また残留を求め運動してきたが、ついに3月末で閉鎖となり、非常に残念に思っている。以前他市では、警察を退職された方が常駐されるポリボックスというものがあった。このような方法ならば予算を僅少に抑えられるかどうか。

総合政策部長 さまざまな部分で不便を感じ、また地域の安全、安心

の維持確保に不安を抱えていると思う。しかし、民間ベース、また派出所等は県の管轄で、市が直接的関与出来ないのが実情である。しかし市として、関係機関、団体に要望、要請を行うと共に、地域の交通の確保、商業環境の整備、地域防犯の充実など研究を行っていきたい。

議員 世の中が進歩している中、有帆地区は衰退へ向かっている。地区の方々もさまざまな面で協力し活動しているので、市の支援を懇願したい。



TPP 対応で農業力を強化

硯谷 篤史 議員

議員 TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に対する市の考えと今後の対応について問う。

産業建設部長 商工業の視点から見れば、投資の拡大、競争促進による国内経済の活性化や生産性の向上などのメリットがある。デメリットとして産業拠点の海外移転や製品の品質低下等が考えられる。企業訪問の際に各社の意見を聞いていきたい。

産業建設部次長 農林水産業の観点からは、外国から安い農水産物が入ってきて価格が低迷し大打撃を受けることになる。結果として離農や食料自給率のさらなる低下が懸念される。

市単独の対応で何とかするという問題ではないが、普段からどのような事態においても対応できるように、足腰の強い農業共同体を構築しておく必要がある。集落営農組織の育成、農業法人化の推進など、さま

ざまな対応策に努力する。

新市民病院の経営形態について、協議不足では？

議員 新市民病院の建設にはさまざまな角度から懸念の声が上がっている。経営形態について、新病院建設構想検討委員会ではどのような論議の結果、公設公営と決定したのか。

病院事業管理者 公立病院改革プラン策定の中で十分に審議し、それを新病院建設構想検討委員会で報告した。建設時点では公設公営しか考えられない。

根幹に関わる大事は別室？で協議

議員 病院の経営形態は、将来的に非常に重要な問題であり、市民にもしっかりと理解していただく必要がある。別の場で協議したと言われても納得できないがどう考えているか。

病院事業管理者 密室で協議した

という言い方は誤解を招くのでやめてもらいたい。密室の協議ではなく、別の場で協議した結果を検討委員会に報告したということだ。

議員 経営形態という最重要課題についてどのような論議がなされたのか。肝心なところが水面下に隠れてしまって市民からは見えないことが問題なのではないか。

病院事業管理者 委員会の最後の方で、文面のやり取りで了解をいただいた部分があり誤解を招いたかもしれないが、決して水面下で事を運んだとは思っていない。



山陽小野田市民病院

産業建設常任委員会視察報告

〈視察日〉2月7日～8日

（視察者）三浦英統、衛藤弘光、伊藤 武、江本郁夫、山田伸幸

産業建設常任委員会は2月7日～8日で愛知県今治市、広島県世羅町を視察しました。

「**今治市 地産地消型農業への取組及び食と農のまちづくり条例の制定**」

条例制定は、農業者、農業団体商工団体、消費者、PTAの各界各層の後押しで、行政が市の食と農に関するまちづくりを行うためのいろいろな施策を打出し、消費者に地元産の購入、大手スーパーでは地産地消の広告の掲載、飲食店も地元産の農産物を利用するよう取り組んでいました。

特に学校における取組では、食育モデル事業が開催されたり、教諭による食育研究会や、食についての副読本を家族に配布し、家庭での学校給食の取組がなされていました。

いかに市民にアピールするかは行政や議会の取組が大切である。これにより市民一人一人が食に対する見識の向上がなされ、地産地消に対する取組ができるのではと思いました。

「**世羅町 デマンド交通導入の経過及び内容**」

運輸事業者のバス路線で乗客の少ない路線の廃止に伴う買い物難民や病院への通院の不便さ等に端を発

し、地域交通システム検討委員会を設置し、どのような交通体系がよいかを、市民アンケート等により考えられたのがデマンド交通です。家族単位での登録制とし利用の促進を図っていました。

デマンド交通のメリットは、小型のタクシーの利用により自宅への送り迎えができることである。1日の運行回数は4往復で、1回の利用料金は300円、1日の利用客も100人位の利用があり利用頻度は評価ができるのではなかろうかと思いました。

世羅町の成功はタクシー業界とバス事業者との調整がスムーズにできており、また、市の補助金等により商工会が事業主体となり事業が行われていました。

山陽小野田市でデマンド交通事業の実施には、タクシー業界とバス事業者の協議が大きな課題となります。



デマンド交通を視察（広島県世羅町）

採 決 の 結 果

議案採決の結果

	件 名	全員賛成で 可決	賛成多数で 可決
補正予算	平成 22 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 6 回）		修正可決
	平成 22 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 5 回）	○	
	平成 22 年度山陽小野田市老人医療特別会計補正予算（第 2 回）	○	
	平成 22 年度山陽小野田市下水道事業特別会計補正予算（第 3 回）	○	
	平成 22 年度山陽小野田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 回）	○	
	平成 22 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 4 回）	○	
	平成 22 年度山陽小野田市病院事業会計補正予算（第 2 回）		○
	平成 22 年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第 2 回）	○	
	平成 22 年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第 1 回）	○	
予算	平成 23 年度山陽小野田市一般会計予算		○
	平成 23 年度山陽小野田市訪問看護ステーション事業特別会計予算	○	
	平成 23 年度山陽小野田市駐車場事業特別会計予算	○	
	平成 23 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計予算		○
	平成 23 年度山陽小野田市介護保険特別会計予算		○
	平成 23 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計予算		○
	平成 23 年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計予算	○	
	平成 23 年度山陽小野田市下水道事業特別会計予算		○
	平成 23 年度山陽小野田市農業集落排水事業特別会計予算	○	
	平成 23 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計予算	○	
	平成 23 年度山陽小野田市病院事業会計予算		○
	平成 23 年度山陽小野田市水道事業会計予算		○
	平成 23 年度山陽小野田市工業用水道事業会計予算	○	
条例	山陽小野田市山陽都市計画事業厚狹駅南部地区土地区画整理事業基金条例を廃止する条例の制定	○	
	山陽小野田市県収入証紙購入基金条例の制定	○	
	山陽小野田市税条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市老人医療高額医療費貸付基金条例を廃止する条例の制定	○	
	山陽小野田市雇用能力開発支援センター条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市職員給与条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	
諮問	人権擁護委員の候補者の推薦	支障なし	
請願	「交通基本法」(仮称)の理念に基づく、公共交通政策推進と支援を求める意見書(案)を当市議会の議決をもって、国に働きかけていただく事に関する請願書	採択	
その他	山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更	○	
	字の区域の変更	○	
	山陽小野田市知的障害者援護施設等の指定管理者の指定	○	
	山陽小野田市の児童館の指定管理者の指定	○	
	山陽小野田市商工センターの指定管理者の指定	○	
	竜王山公園オートキャンプ場の指定管理者の指定	○	
	山陽小野田市きららガラス未来館の指定管理者の指定	○	
	山陽小野田市宿泊研修施設きらら交流館の指定管理者の指定	○	
	山陽小野田市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定	○	
	特別委員会の設置 ※一般会計予算審査特別委員会	○	
	特別委員会の設置 ※自治基本条例審査特別委員会	○	
	意見書	「交通基本法」(仮称)の理念に基づく、公共交通政策推進と支援を求める意見書	○
条例	山陽小野田市自治基本条例の制定	継続審査	

自治基本条例審査特別委員会

山陽小野田市議会は、平成23年3月3日の定例会において、自治基本条例審査特別委員会を設置しました。

公募市民が長時間かけて草案された自治基本条例だということを受け止め、まちづくりの基本となる条例を、慎重審査していきます。

- 委員長 大井 淳一朗
- 副委員長 矢田 松夫
- 委員 石田 清廉
- 委員 小野 泰
- 委員 松尾 数則
- 委員 山田 伸幸
- 委員 吉永 美子



市民との意見交換会を開催

豪雨災害最終報告書案について

豪雨災害対策調査特別委員会は昨年7月15日の豪雨災害後の8月4日に設置しましたがこの約1年間に被災地区懇談会、実態調査、現地調査及び中間報告会等を行い最終報告書案を作成いたしました。この意見交換会では、報告書案を皆様方にお示しをし、忌憚のないご意見をお聞きしてよりよい報告書にしたいと考えております。ついでには災害に強いまちづくりに寄与していきたいと思っておりますので、被災をされた方々をはじめ市民の皆様のご参加をお待ちしております。

■最終報告書意見交換会日程

開催日	開催時間	開催場所
5月25日(水)	10:00～12:00	保健センター2階 (山陽総合事務所)
	14:00～16:00	埴生公民館2階
5月26日(木)	10:00～12:00	市役所3階会議室
	14:00～16:00	厚陽公民館2階
	18:00～20:00	文化会館小ホール
6月1日(水)	10:00～12:00	出合公民館2階
	14:00～16:00	市民館2階

市民のこえ

岡本 芳文さん
(日の出三丁目)



東日本大震災の被災状況報道に涙しながら、大自然の脅威を再認識させられています。そして、平穏な毎日を生活できる有難さに感謝しながら、東日本の皆様に大変申し訳なく思います。

山は青く、水は清い、ふるさとへUターンしてもう9年近くなります。帰郷直後から、合併問題への行政の取り組みとその推移が気になり議会に関心を持つようになりました。

言うまでもなく代表民主制の原点は選挙にあります。応援し

た議員の活動ぶりもチェックしているつもりです。ところが、先頃行われた県議選の山陽小野田市選挙区投票率は何と46.08%と最低の投票率でした。直前まで無投票との観測があったり、大震災による自粛ムードが漂ったりの事情はありましたが、それにしても有権者の半分以上が棄権する事態はいかがなものでしょうか。選挙公報を発行して公約の違いなど明らかにするなどの努力も必要だったのかもしれない。

編集室より

3月定例会期中に東日本大震災が発生しました。未曾有の惨事に国民が涙しています。当市も昨年想定外の豪雨災害に遭い、多くの方々のご支援をいただき大変力になりました。

できる限りの支援をしていくとともに、お亡くなりになられた方のご冥福と一日も早い復興を祈念いたします。

さて23年度予算が決まりました。自主防災組織の充実や地域医療の充実など市民の安心・安全を最優先に議会としても全力を尽くします。併せて市民の皆様にも見える議会改革も進めていきます。ご期待下さい！